



VR Visionary Talk

永青文庫「歌仙兼定登場」との連携セミナー企画

「プロダクトデザインの視点から切る、日本の刀剣」を
9/30に六本木アカデミーヒルズで開催9/30(金)
19:30~21:00受講料 4,000円
定員 150名

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、森ビル株式会社アカデミーヒルズと共同で、公益財団法人永青文庫の夏季展示「歌仙兼定登場」連携企画、VR Visionary Talk(※)「プロダクトデザインの視点から切る、日本の刀剣」を2016年9月30日(金)に開催します。

永青文庫で開催中の「歌仙兼定登場」では、行政と連動したイベントが開催されるなど、ゲームを発端とした「刀剣ブーム」が若い女性を中心に大きな盛り上がりを見せています。今回のセミナーでは、なぜ「刀剣」がこれほどまでのブームとなり、そして多くの人々を魅了しているのか、凸版印刷のデジタルアーカイブ技術で撮影した刀剣画像などを用いながら、その用途と機能から生まれた形状、いわゆるプロダクトデザインの視点から専門家に語っていただきます。

夏季展示「歌仙兼定登場」
(公益財団法人永青文庫)

【左】 山中俊治(東京大学大学院情報学環)
【中央】 末兼俊彦(東京国立博物館)
【右】 橋本麻里(永青文庫)

『デザインの骨格』や『カーボン・アスリート 美しい義足に描く夢』の著者であるデザインエンジニア・東京大学大学院情報学環教授の山中俊治氏、金工が専門の東京国立博物館研究員の末兼俊彦氏、そして永青文庫副館長の橋本麻里氏が登壇し、それぞれの専門的知見から刀剣の持つ魅力を解説します。金工の専門知識、プロダクトデザインの視点、そしてデジタル技術のコラボレーションで、刀剣の細部まで鑑賞しながら魅力を学ぶことができます。

(※)「VR Visionary Talk」は、VR(バーチャルリアリティ)を始めとする最先端技術を使いながら、様々なジャンルの有識者が知的好奇心を刺激するトークを繰り広げ、美術館や博物館での鑑賞とは違った視点で文化財の魅力を体感できるシリーズです。

- 名称: 六本木アートカレッジセミナーシリーズ VR Visionary Talk
永青文庫「歌仙兼定登場」連携企画「プロダクトデザインの視点から切る、日本の刀剣」
- 会場: アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)
- 日時: 2016/9/30(金) 19:30-21:00 ■受講料: 4,000円 ■定員: 150名
- 申込みURL: <http://www.academyhills.com/school/artcollege/detail/toppan20160930.html>

[報道に関するお問い合わせ・掲載用写真について]

凸版印刷株式会社 文化事業推進本部 パブリシティ担当

E-mail: bunkajigyo@toppan.co.jp TEL: 03-5840-4899 FAX: 03-5840-1910

□ 講師紹介

山中 俊治(やまなか しゅんじ)

デザインエンジニア／東京大学大学院情報学環教授

1957年愛媛県生まれ。1982年東京大学工学部卒業後、日産自動車デザインセンター勤務。1987年フリーのデザイナーとして独立。1991～94年東京大学助教授、同年リーディング・エッジ・デザインを設立。2008～12年慶應義塾大学教授、2013年より東京大学教授。腕時計、カメラ、乗用車、家電、家具など携わった工業製品は多岐にわたり、グッドデザイン金賞、ニューヨーク近代美術館永久所蔵品選定など授賞多数。近年は「美しい義足」や「生き物っぽいロボット」など、人との新しい関係を研究している。近著に『デザインの骨格』(日経BP社、2011年)、『カーボン・アスリート 美しい義足に描く夢』(白水社、2012年)。

末兼 俊彦(すえかね としひこ)

1978年生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程中退。2010年九州国立博物館に金工分野担当のアソシエイトフェローとして着任。2012年に京都国立博物館の研究員となり、2016年4月より東京国立博物館の研究員。自身が手掛けた昨年末～今年2月の特集陳列「刀剣を楽しむ―名物刀を中心に―」が大評判を呼び、期間中の京博・名品ギャラリー来場者はのべ8万人に及んだ。

橋本 麻里(はしもと まり)

日本美術を主な領域とするライター、エディター。永青文庫副館長。

明治学院大学非常勤講師。新聞、雑誌への寄稿のほか、NHK・Eテレの美術番組を中心に、日本美術を楽しく、わかりやすく解説。著書に『美術でたどる日本の歴史』全3巻(汐文社)、『SHUNGART』(小学館)、『京都で日本美術をみる[京都国立博物館]』(集英社クリエイティブ)ほか多数。

□ 六本木アートカレッジに関するお問い合わせ

アカデミーヒルズ スクール事務局 あて

受付時間:10:00-18:30 (土・日・祝・年末年始を除く)

※お電話及びメールでの講座お申込は受け付けておりませんのでご了承ください。

電話番号:03-6406-6200

サイトURL:https://form.mori.co.jp/form/pub/academy/biz_inquiry

□ 公式Facebookページ



文化財VRを活用したトークイベントVR Visionary Talk の公式 Facebookページ にてイベントの最新情報や開催レポートをお届けします。

<https://www.facebook.com/vrvisionarytalk/>

※凸版印刷のVR・デジタルアーカイブへの取り組み

凸版印刷では「印刷テクノロジー」で培った高精細・大容量のデジタル画像処理技術やカラーマネジメント技術、立体形状計測技術を核に、文化財の高精細デジタルアーカイブに取り組み、これまでに、マチュピチュ(ペルー)、国宝「鑑真和上坐像」(唐招提寺所蔵)、国宝「檜図屏風」(東京国立博物館所蔵)など、国内外で数々の貴重な文化財や世界遺産をデジタルアーカイブ化しています。さらに、文化財のデジタル展示手法としてVR技術の開発に取り組み、『ナスカ』や『唐招提寺～金堂の技と鑑真和上に捧ぐ御影堂の美～』、『洛中洛外図屏風 舟木本』など、著名な文化財をテーマにしたVR作品を1997年から50本製作しています。また、大型スクリーンを用いたVRシアターの導入を進め、海外では中国・故宮博物院やホンジュラス共和国博物館、国内では東京国立博物館の「TNM&TOPPAN ミュージアムシアター」や日光東照宮東照宮シアター、堺市博物館 百舌鳥古墳群シアターなど22拠点にトッパンVRシステムを導入、文化財VR作品を上映・上演しています。

公式サイトURL:<http://www.toppan-vr.jp/bunka/>